



学校だより



学校教育目標

昇陽

校訓「昇る陽の如く」

Sho-yo



第6号
発行日
令和6年
9月2日

パリ オリンピックから ～克己心～

教頭 小川 智之

パリオリンピックが夏休み期間に行われました。代表アスリートの皆さんのこれまでの努力に敬意を表すとともに、支えてきた周囲の方々へもサポートの労いを申し上げたいと思います。ここまで来ることに、それぞれの過程があり、人には言えないドラマがあったことかと思えます。開幕前には、オリンピックにまつわるエピソードの報道があり、その中で、シドニーオリンピック柔道 100kg超級の銀メダリスト 篠原信一選手のエピソードに目が止まりました。

誤審が減る目的でカラー柔道着が採用されたオリンピック。柔道 100kg超級の決勝戦で、いわゆる誤審と思われる判定で篠原選手が負けてしまい、銀メダルになったエピソードです。金メダルを国民から期待され、本人もその思いで臨んだオリンピック。試合終了のブザーが鳴った時の喪失感は計り知れないものだったと思います。ただ、その後本人から出た言葉は「弱いから負けた」の一言でした。

「弱いから負けた」に係るエピソードは、様々な所で本人から、後々語られていますが、非常に重い一言だと感じました。いわゆる「心技体」の「心」の部分、誤審の後、冷静さを失い、慌ててしまったことに敗因があると話されていました。

さて、東中の生徒もこの夏、県大会にコマを進め、躍動する姿がありました。先行され、そのまま逃げ切られた競技もあれば、大逆転の末、一勝をもぎ取った競技もありました。ただ、本来の力を出し切れずに終えてしまった競技が殆どであったように感じます。本来の力を出し切るためには、心の成長が不可欠です。「練習を本番のように、本番を練習のように」という言葉がありますが、日頃から本番のように緊張感をもって取り組む必要があったのかもしれませんが。生徒総会の時、部活動の部長から、各部活動の現状の課題の一つとして「メリハリがない」と発表した部活動が多くありました。この夏の結果から、直向き（ひたむき）に取り組む姿勢、誘惑に負けず取り組む姿勢が、今まで以上に必要なのかもしれませんが。一つ一つを丁寧に、かつ着実に取り組むことで、「心」が鍛えられていくと思います。

2 学期は、3 年生の多くは自らの進路実現に向け、そして 1, 2 年生は 3 年生の引退に伴い、様々な役割を引き継いでいく時期になります。同じ轍を踏まないためにも、今までの自分を分析し、新たな目標を立て、自分の心に克つ「克己心」を成長させられるよう、何事にも直向きに取り組んで欲しいと思います。

学校総合体育大会（県大会）

7月18日(木)に野球部を皮切りに、陸上競技部(男女)、ソフトテニス部(女子)、卓球部(男女)、バレーボール部、剣道部の各部活動他、柔道、テニスでも個人種目で県大会に出場しました。



吹奏楽コンクール 金賞

8月2日(金)に埼玉県吹奏楽コンクール東部地区大会が開かれました。すべての部門を合わせると、のべ80団体以上の参加があり、3日間に分けて開催されました。

本校は、D部門で金賞に入賞しました。



避難訓練実施 ～自らの判断で避難～

8月30日(金)に地震と火災を想定した避難訓練を実施しました。今回は、訓練をする時間を知らせず、自らの判断で避難することをねらいとした訓練になります。



9月の行事予定 ※合唱コンクールの日程を、大会の関係により、10/11(金)から10/10(木)に変更させていただきます。

日	曜	予定	日	曜	予定
1	日		16	月	敬老の日
2	月	給食開始	17	火	管理担当訪問
3	火	水曜授業 東部地区テスト(3年) 職場体験事前訪問(2年)	18	水	専門委員会 英語弁論大会 ☆
4	水	火曜日授業 支援担当訪問 ☆	19	木	壮行会
5	木		20	金	
6	金	陸上代表者会議 文部科学省実践校訪問 ☆	21	土	
7	土	第1回資源回収	22	日	秋分の日
8	日		23	月	振替休日
9	月	脊柱側弯検診(1年)	24	火	
10	火	職場体験(2年) 安全の日	25	水	郡市大会 特別日課(4時間)
11	水	職場体験(2年) ☆	26	木	郡市大会 特別日課(4時間)
12	木	郡市代表者会議	27	金	郡市大会 特別日課(4時間) 後期教育実習開始 ☆
13	金	郡市大会(陸上)	28	土	テスト前部活動停止 ☆
14	土	郡市大会(陸上) 予備日	29	日	テスト前部活動停止 ☆
15	日		30	月	テスト前部活動停止 ☆

※状況によっては、変更する場合がございます。 ☆は部活動休養日を示しております。